

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 津久見 開催概要

[開催日：令和4年9月7日(水)]

[学校訪問] 津久見市立津久見小学校

[訪問者] 大分県教育委員会（岡本教育長、教育委員、教育次長 他）
津久見市教育委員会（平山教育長、教育委員 他）

1. 概要説明

津久見市立津久見小学校では「他を思いやり学ぶ楽しさをもって挑戦する『つくみっ子』の育成」を学校の教育目標とし、教職員だけでなく家庭・地域と協働的に子ども育てに取り組んでいます。

具体的な取組である①生徒指導の充実・徹底②学力の向上に向けた教科担任制の推進③バッチリウィーク等を活用した家庭・地域との連携強化等の説明がありました。



概要説明をする津久見小徳丸校長

2. 授業参観



県教育委員の参観の様子（1年教室）



3年 理科の実験の様子



3年 図画工作の活動の様子

【授業参観後の意見交換】

- ・子どもたちにしっかりと力をつけるために教科担任制を通じて授業改善に力を入れていることがわかった。津久見小学校の取組をもっと他の学校にも知らせてほしい。
- ・どの授業も大変素晴らしかった。申し分ない。
- ・授業だけでなく、校内に掲示している書写や図画工作の作品の出来映えがよい。子どもたちが津久見小学校での学習活動に満足していることと、自信を持っていることがわかった。

[意見交換会テーマ] 「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
～津久見の新しい「特色・魅力・活力ある学校づくり」について～
[出席者] 学校訪問参加者及び学校等関係者

1. 津久見市の取組説明「特色・魅力・活力ある学校づくり」

津久見市では、令和6年4月の新設中学校「津久見中学校」の開校に向けて準備に取り組んでいます。その中で、津久見市新設中学校開校推進協議会を開催するなど、教育関係者はもちろん、各校保護者代表や市内有識者に参画してもらい協議を深めています。

市内唯一の中学校となる「津久見中学校」が、「特色・魅力・活力ある学校」となるための具体的な取組や津久見市の目指す小中高の学びの連続性についての説明がありました。



取組説明をする江藤指導主事

2. 意見交換

(1) 津久見市の取組の成果と課題

まず、3名の出席者より、それぞれの立場から「特色・魅力・活力ある学校」の実現に向けて、現在取り組んでいる内容の紹介がありました。

キーワード『伝承』

新設中学校開校に向けて、様々な方の意見を取り入れながら、課題解決の方策を探っている。また、開校にあたっては、様々な教育課題に対応していくために、第一中学校と第二中学校の伝統と歴史をしっかりと伝承していきたい。



川野 修平

(新設中学校開校推進協議会長)



高野 博文

(津久見市 PTA 連合会長)

キーワード『つなぐ』

コロナ禍における活動の在り方について意見交換会を行っている。PTA だけでなく、津久見市議会、市教育委員会、津久見高校とも懇談会を持ち、津久見のよりよい教育の実現に向けた意見交換を行っている。

キーワード『子どもへの感謝』

朝の交通指導で子どもたちと直接ふれ合うことを通して、生きがいや喜びをもらっている。土曜寺子屋塾では、子どもたちの成長や伸びを実感していることにも喜びを感じている。



石堂 裕

(土曜寺子屋・つくみ塾長)

(2) 「特色・魅力・活力ある学校」の今後に向けて

後半は、津久見市の特色・魅力・活力ある学校づくりの今後に向けた意見交換を行いました。その中で、それぞれの強みやよさを活かしながら、協働的に取組をすすめていくことの大切さを確かめました。



(3) 県教育委員及び市教育委員からの主な意見

- ・(県) 学校訪問の中でもお伝えしたが、学習環境もよく整っており、子ども達が描いた絵、とりわけ配色については高いレベルのものが多く、ここにも教科担任制の良さが表れていることがわかった。
- ・(県) 新しい学校では、地域の方が、望んで学校に来てくれるような学校づくりを目指してほしい。また、学校・家庭・地域が一体となった学力の向上に向けた取組は素晴らしく、今後も進めていってほしい。
- ・(市) 地域の小学校の寺子屋塾にかかわらせてもらっている。漢検の取組などは、子どもたちでなく、指導する立場の大人も伸びを実感している。今後も子どもたちのために頑張っていきたい。
- ・(市) 津久見市は、あまり規模が大きい分、細やかな教育や子育てが実現できるまちであると思っている。様々な方と協力しながら、しっかりと取り組んでいきたい。

(4) 意見交換を終えて

① 岡本県教育長より

授業参観等を通じて、子どもたちにしっかりと力をつけていることを把握させてもらった。近い将来に1つの中学校になることを見据えて、津久見市全体でよりよい教育の実現を目指していることがわかった。津久見高校の頑張りも、地域の皆さんにもっと発信していきたい。また、これからの学校づくりのポイントは、コミュニティ・スクールの充実である。学校運営協議会の中で、地域の方の声をもっと取り入れていくことが大切になる。



岡本天津男 県教育長

② 平山市教育長より

津久見市の取組に対して熱心に議論していただいたことに感謝している。地域との一体的な取組である「土曜寺子屋・つくみ塾」は、当初は困難さがあった。そこで、明確な目標を立てて取り組むことで、成功体験を共有することができている。また、津久見市には、高い使命感を持っている教員が多いことを自負しており、各校で好循環を生んでいる。今後の津久見の明るい未来に向けて、学校・家庭・地域が一体となった取組を今後も充実させていきたい。



平山正雄 市教育長